

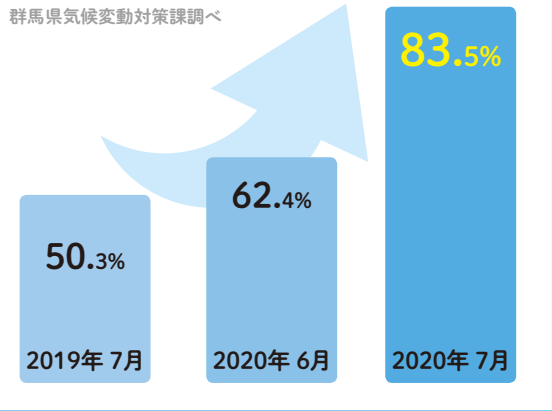
2020年7月1日からレジ袋有料化 県内のレジ袋辞退率が大きく伸びました。

複数のマイバッグを使用したり、定期的に洗ったりして衛生面や新型コロナウイルスの感染に注意しましょう。

レジ袋辞退率の推移

(公表可とした7事業者の平均)

群馬県気候変動対策課調べ



レジ袋を
削減することは
プラスチックごみ削減の
第一歩です。



ごみを減らすために3Rを始めましょう



Reduce(リデュース)ごみの量を減らそう

・生ごみ処理機の利用・マイバッグの使用

Reuse(リユース)繰り返し使おう

・リサイクルショップの利用・修理して大切に使う

Recycle(リサイクル)資源として活かそう

・ごみを分別する(ペットボトル・紙ごみなど)

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

- | | | |
|-----|-----------|------|
| 宣言1 | 自然災害による死者 | 「ゼロ」 |
| 宣言2 | 温室効果ガス排出量 | 「ゼロ」 |
| 宣言3 | 災害時の停電 | 「ゼロ」 |
| 宣言4 | プラスチックごみ | 「ゼロ」 |
| 宣言5 | 食品ロス | 「ゼロ」 |

5Rの推進

「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けて、循環型社会づくりを推進していく必要があります。

県では、3R (Reduce、Reuse、Recycle) に、不要なものを買わない、受け取りを断るといったRefuse (リフューズ) や、「もったいない」を意識して、ものに対して敬意を払い、大切に長く使うRespect (リスペクト) という2つのRを加えた5Rを推進しています。

県民の皆様のご協力をお願いいたします。